

みん 有無 第八号



「彼岸花 (うがんばな)」

今年も当寺の墓地にきれいに咲きました。

「暑さ寒さも彼岸まで」。すこし涼しくなってきた
9月中旬、ちょうど秋のお彼岸の頃に咲きます。

別名「曼珠沙華 (まんじゅしゃげ)」。

“天上の花”という意味。

猛暑も収まり、やっと過ごしやうい季節になりました。

といっても、急激に涼しくなりすぎて、体もギョッ! っとなります。

そんな中、2014年も秋彼岸を迎えました。

念仏を軸に生かされた親鸞聖人は、亡き親の供養(追善供養)のために念仏をしたことは一度もない、と言っておられます。

私たち真宗門徒は、追善供養ではなく讃嘆供養。

阿彌陀仏の徳を讃え、阿彌陀仏を供養することを言います。「?!」となるかもしれませんが、自分の都合のための念仏ではなく、生かされて頂いているということを見つめ直し、「アミダさん、有難う」そんなお彼岸を過ごせば、私も含め…。では、ギョッ! となった体をキュッ! と引き締める。レッツ! お彼岸!

意外だ! Part. 4
仏教語??

食堂 しきどう



A子「ねえ、お腹空いたしどこかお店入らない?」

B助「そうだね! この近くだと何があるだろう?」

A子「あっち行けば、オシャレなダイニングカフェでしょ〜。

こっちには、ステキなダイニング食堂があったはずだわ!」

B助「あ〜、ダイニングじき… へっ?!」

そんなもんありません。

それにしても、「ダイニング〜」が多いですね。

それに比べ食堂(しきどう)と呼ばれる場所が少なくなってきました。

私、副住職は「ダイニング〜」もオシャレで好きですが、昔からあるような小汚ない食堂も好きです。京都に住んでいた時は、大学近くの食堂やら、学生食堂(学食)にはとてもお世話になりました。

そんな『食堂』。私たちは、『しきどう』と読みますが、本来は『じきどう』と読みます。仏教辞典によれば… 僧侶が一堂に会して齋食(さいじき)を

とるための堂宇(どうう)=建物、とありました。古くインド・中国においても、食堂は僧侶の礼儀の細かな規則を整えるための非常に重い意味を持つ場所だったようです。国語辞典を開くと〈食堂=ダイニングルーム〉と書いてあります。

〈堂〉であろうと〈ルーム〉であろうと、私たちは他のいのちを頂くことで生かされてもらっている。このことを確認する場所が食堂なのです。

「いただきます」と「ごちそうさま」

「お坊さんでも お肉とかお魚って食べていいの？」

これくよく聞かれるワード＞の上位です。

答えは「いいんです！」。

でも、「いただきます」を言ってから。

動物にも、植物にも、私たちと同じ「いのち」があります。

“あなたの「いのち」を「貢」いて、私の「いのち」に代えさせて「頂」きます。”

これが本来の 食べ物を口にする前の「頂きます」。

「ご馳走様」の「馳」と「走」。

どちらにもくはしる＞という意味があります。

現代は、様々な食材を近所のスーパーで簡単に買うことができますが、

昔はそう簡単に食材を手に入れられなかった。

お客様をもてなすのに走り回って食材を集めたそうです。

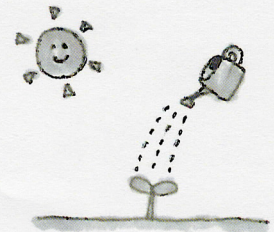
その心遣いに対して、「有難う」という感謝の想いを表した言葉。

それが 食事を終えた時の「ご馳走様」。

この意味、今回この記事を書くまで知らなかった...

今まで何気なく口にしていた言葉も、意味が分かると

想いの込められた感謝の言葉に変わります。



—— 真宗大谷派の「食前のことば」と「食後のことば」 ——

※ 淨き食いのち

食前のことば
み^{ひかり}光のもと
われ^{いま}今^{いま}な^{いま}いわいに
この^{きよ}淨^{きよ}き^{きよ}食^くを^をう^うく
いた^いだ^だき^きま^ます

食後のことば
われ^{いま}今^{いま}
この^{きよ}淨^{きよ}き^{きよ}食^くを^を終^おわ^わり^りて
心^{こころ}ゆ^ゆた^たか^かに^に力^{ちから}身^みに^にみ^みつ
ご^ごち^ちそ^そう^うさ^まま

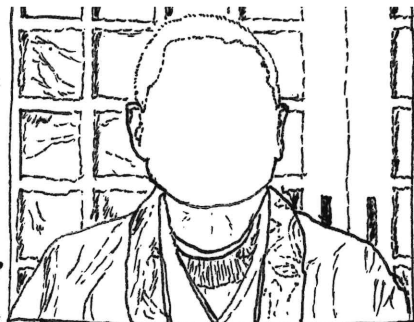
HELLO.

No.3

今回は15代住職

釋祐純です。

今年で84歳になりました。



14世住職の長男に生れる

大学在学中に父に早世され学校と法務を

両立しながら通っていました

特に趣味もなくお寺の仕事が中心となり

ましたが大病をわすれずの幸もあり後継者を

迎へたが住職を継承していた。退任の折には

在任40年餘年になっていました

隠居になつた今日は写経や聖教の書写

などで時を過しております

前住職 釋祐純 拜

NEXT. — 今後の予定 —

□ 同朋の会

～仏法を語らう会～

住職による仏法のはなし

日時：10月25日(土) 14時より

※参加自由ですので、是非ご参加ください

□ 報恩講法要

(親鸞聖人ご命日の集い)

一年で最も重要な法要です。

日時：11月2日(日)

※後日、ハガキにてお知らせ致します。

— 9月15日は 敬老の日 —

今年度、100歳以上は5万8820人。

1963年の調査以来、最多だそうです。

“おじいちゃん、おばあちゃんありがとう”

タイトル『ウム有無』とは…むずかしい仏教のことや仏教用語を「ウムウム」と
頷いていただけるように簡単にまとめた冊子です。

仏教用語：有無(うゐ) — 存在すること、しないこと。

また、形有るものと無いもの。(有形、無形)

発行日：平成26年 9月1日

制作：副住職 釋祐翔

准坊守 小笠原沙織

題字：15代住職 釋祐純

Face book:

真宗大谷派 源通寺 ぞ検索

📞 よろしくお願ひします!!
🙏

浄土真宗 大谷派寺院

— 源通寺 —

住所：東京都中野区上高田1-2-7

TEL: 03-3371-8817

FAX: 03-3371-8815

1st Web: gentsuji.or.jp

アンド

2nd Web: gentsuji.jp

E-mail: Contact@gentsuji.or.jp

□ 当寺に関すること、又 法事に関することなど

気になることがございましたら、お気軽にご相談ください。